

令和2年度 第2回防府市観光振興推進協議会議事録等

開催日時

令和2年10月29日（木） 午後2時から午後3時45分

場所

防府市文化福社会館3階4号大会議室

次第・議事

1 開会

2 議事

(1) 「第3次防府市観光振興基本計画」の素案について

(2) 今後の計画策定に向けたスケジュール

3 閉会

配布資料

・「第3次防府市観光振興基本計画」素案

・資料1 第3次防府市観光振興基本計画策定スケジュール

傍聴人

なし

出席者名簿

敬称略・順不同

	区分	委員名	所 属	出欠
委 員	学識経験	(副会長) 加藤 真也	山口大学経済学部 准教授	出席
	観光関係団体	(会 長) 羽嶋 秀一	防府商工会議所 副会頭	出席
		中司 達美	(一社)防府観光コンベンション協会 副会長	出席
		宇野 好一	防府観光物産協会 会長	出席
		種田 正幸	天神町銀座商店街振興組合 理事長	出席
		吉谷由紀恵	(一社)山口県観光連盟 誘客プロモーション部 部長	出席
	市民（一般公募）	田中 元昭	－	出席
	市民活動団体	山野 悦子	特定非営利活動法人 市民活動さぽーとねっと	出席
	観光関連・民間関連事業者（旅行業者）	多 田 望	(株)JTB山口支店 支店長	欠席
	観光関連・民間関連事業者（産業観光関係者）	広政 利雄	マツダ(株)防府工場 総務部長	出席
「第3次防府市観光振興基本計画策定支援業務」受託業者	八木 周吾	ランドブレイン(株)山口事務所 所長		
	岡部 将己	〃 地域経営グループ 主任		
	山内佳奈子	〃 地域経営グループ		
事 務 局	島田 文也	地域交流部 部長		
	寺畑 俊孝	地域交流部 部次長		
	亀井 幸一	地域交流部 おもてなし観光課 課長		
	福谷 英樹	〃 課長補佐		
	轟岡 俊樹	〃 観光振興係 係長		
	渡邊ももえ	〃 観光振興係 主事		

【 議 事 録 】

1 開会

(事務局より開会の宣言)

2 出席委員等の紹介

事務局 (委員交代の報告)
マツダ(株)防府工場の広政委員は、同工場総務部長の黒瀬委員の後任として、この度協議会委員に就任された旨を報告。

事務局 (会議の公開について)
異議なし

3 議事

(1) 「第3次防府市観光振興基本計画」の素案について

会長 先ほどご案内があったように本日は次期観光振興基本計画の素案について協議を行いたい。8月の協議会で皆様からいただいたご指摘やご意見を踏まえて、今回の素案が取りまとめられている。本日の協議会は次期計画の内容について協議する大変重要なものとなっているため、皆様の熱心で闊達なご意見の交換を賜りたい。

それでは、第3次防府市観光振興基本計画の素案について事務局から説明をお願いします。

事務局 「第3次防府市観光振興基本計画」の素案について、前半と後半に分けて説明する。まずは調査分析が主となる前半部分については、ランドブレイン株式会社山口事務所のスタッフにお願いします。

ランドブレイン(株) (「第3次防府市観光振興基本計画 (素案)」前半部分の1～15ページについて説明)

会長 ここまでの説明について、質問や意見を受けたいので、意見等があれば挙手をお願いします。

- 会 長 11 ページの事業者等へのヒアリングを何件行ったのかを知りたい。
- ランドブレイン(株) 事業者ヒアリングは観光コンベンション協会をはじめ、商工会議所、飲食業組合など 10 件行った。
- 委員 A 15 ページの観光地のしつらえで、適切な交通アクセスや駐車場の整備の項目がある。それに関連して、電気自動車の充電をする場所は少ないと観光客から聞いたことがある。今後充電スタンドの整備は検討しているのか。
- 事務局 コロナ禍においては、感染を避けるためマイカーでの往来が主になると考えている。駐車場の台数を増やす施策も後程出てくると思うが、あわせて時代の変遷に合わせて、自動車の電動化や SDGs でも謳われている二酸化炭素の排出削減など、状況に応じて連携を取りながら進めて行きたい。
- 委員 B 9 ページの「観光客数」に関するデータはどのように把握しているのか。
- 事務局 県から公表しているものだが、基本は市が各観光地の入込客数を県に報告している。県がそれを随時現場でアンケート調査などの実態調査を行い、補正をしている。観光庁のガイドラインに基づいて県が行っている。
- 会 長 続いて、計画の一番重要な部分である、具体的な取組をまとめた後半部分についての説明をお願いしたい。
- 事務局 (「第 3 次防府市観光振興基本計画 (素案)」の 16～20 ページについて説明)
- 委員 C 観光地域づくりとあるが、要は人が集まる、人通りが増えるということが一つの目安になると思う。潮彩市場の観光客数は 67 万人とあるが、実際は市民の買い物客が大半を占めている。そうした市民の集まる場所や人が行き交うところという点からすると、防府駅周辺にはいろいろな建物があり、観光や地域交流の面から、そこでどんなイベントをして人を集めていくか

は重要だと思うので、多様性のある資源として挙げている「文化」欄に、駅周辺に関する記載も加えたらどうかと思う。

事務局 潮彩市場は市民が買い物に来る面は実際にあると思うが、それは良いことであると考えているため、さらに磨き上げて、地元の方に口コミで潮彩市場の良さを発信していただけるような施設になるための取組も今後必要になると思う。防府駅を中心とした、人が集まる仕掛けということについては、貴重な御意見として「文化」の分野に盛り込むことについて検討させていただく。

委員D 先ほどの前半部分の各種データで、防府を訪れる観光客の年齢層の分析はないのか。

事務局 詳細のデータがあるためお示しすることはできる。高齢者が多い。

委員D やはり 17 ページの多様性のある資源を見ると、子育てを終えた夫婦が訪れるような資源しかないように見え、若い世代が好んで来るような資源はないのではと思う。そのため、年齢層を分析してターゲットを絞ったほうが良いのかなと思う。限られた予算を万遍なく使っても効果は出ないと思われ、若い人をもっと増やしたいのであれば若者向けのイベント、例えばライブイベントなどにお金をかけるとか、子育てを終えた世代をターゲットにするなら、歴史関連の資源を無料で巡回するバスを走らせる、ファミリー層を呼ぶのであればサイクルロードを整備する、などターゲットを絞ったほうが良い気がした。

事務局 現在の素案では年齢層を絞っていないため検討させていただく。

委員B 国や県が推進しようとしているデジタル化に着目し、防府天満宮のような歴史資源だけでなく、バーチャル空間など最先端のコンテンツを楽しめる場所というものがあれば面白いのではないか。既存の資源だけでなく、民間と連携する等して、お金のかからない最先端の何か新しいコンテンツを考えていただき、それらとトータルでの観光ルートがあるとよいと思う。

事務局 カテゴリーでは新しい文化になるが、若年層向けの資源も組み込んでいきたいと思う。

事務局 (続いて「第3次防府市観光振興基本計画(素案)」の21～24ページについて説明)

委員E 観光のトピックで、最近「体験」のニーズが高いと感じている。その中で、素案にはBBQ体験や釣りといった様々な体験型のコンテンツが記載されており、将来魅力的なコンテンツになることを期待している。そこでプロモーションについて、マスメディアやSNSなどを使ったPRはもちろん有効なので継続してやっていくべきだが、BBQや釣りなどのアウトドア体験は、ある程度層がニッチであるため、広く浅く訴えかけても食いつきが難しいので、釣りであれば釣り番組や釣り雑誌、BBQであればアウトドア専門誌などに重点的にPRしていくことで、少ない経費でヒットすることができると思う。それぞれのコンテンツに合わせたPRを考えていくと良いだろう。

事務局 (続いて「第3次防府市観光振興基本計画(素案)」の25～28ページについて説明)

委員F 日本史の授業が上手な塾講師や防府市内の名物先生などを起用して、YouTubeで防府市内の歴史資源に関する授業を無料で配信して見てもらうのはどうか。わかりやすい授業だと歴史に興味のない若者にも市内の歴史資源に興味を持ってもらえるかもしれない。専門家や芸能人の起用によるPRは有効だと思う。

事務局 特に歴史好きの方やアニメ好きの方は好きな物であれば全国各地にでも行くような方も多いため、そこを狙って計画に入れている。

事務局 (続いて「第3次防府市観光振興基本計画(素案)」の29～36ページについて説明)

委員G この計画の期間は5年間となっているが、5年間というのはあやという間である。世の中、180度変えるくらい大きく変わ

らないと、じわじわ変えるということでは気が付かないと思うので、行政としてできることからやっていただきたい。

スポーツの振興については、せっかく誘致しても宿泊場所がないため、どうしても山口市等の近隣市町村と連携する必要がある。

委員 A

広域連携について、現在7市町で実施しているリアル宝探しゲーム「ななゆめ調査団」は自分も家族で楽しんでいて、他市町のエリアに行った際は食事をしたり土産を買ったりしているが、防府でも他市町から来られた方がゲームを楽しみつつ、食事や土産購入など地域にお金を落としてくれているという成果は感じているか。また、サイクリングターミナルの現状が気になる。自分が中学生や高校生の頃は、身近な宿場所として大変有効に活用させていただいたが、現在はどのように活用されているか。

事務局

7つの市町でリアルな宝探しを実施しているが、土日になると明らかにうめてらすや国分寺に冊子を持った親子が来ている。うめてらすの売店の売り上げや駐車場の台数も今月に入り例年と同じくらいに戻っていて、観光バスも来ている。こういった宝探しのような取組が後押ししているのではないかと思うので今後も参考にしたい。一つの市だけでやるとパワー不足になるので連携していきたい。

サイクリングターミナルについては、自転車の拠点という形で位置づけつつ、低料金の宿泊所という側面もあり、なかなかスポーツでの利用が伸びない。過去5年間は指定管理で運営し、昨年度から直営に戻っているが、直営に戻った途端に宿泊者数が半減した。これは、ホテル業を専門としている会社と、たくさんある仕事の中の一つとしてやる市役所の観光課との営業力の差が如実に出たのかなと感じている。その反省を踏まえ、来年度から指定管理に戻せないかということで動いているところである。

事務局

(続いて「第3次防府市観光振興基本計画(素案)」の37ページ以降について説明)

会 長

全体を通して、他に御意見等はないか。

委員F 手元に配られた「すごいぞ！防府 秋の大イベント」のチラシに、気球搭乗体験で、中学生以上は2千円となっているが、気球の台数を増やして気球の乗車料金を無料にすれば、多くの親子が来てくれるのではないか。また、歴史コアゾーンとアウトドアを楽しめる場所が近いのであれば、アウトドア体験が安くなるクーポン券の配布を行うなどして、歴史ゾーンの観光とアウトドア体験の両方を楽しんでもらうことを考えてもよいのではないかと思った。さらに、マツダの工場見学とか天然鱧を釣るといった地元での体験を子どもの頃からできるような取組をしておけば、10年20年経った時に防府に残ろうかなと考える子どもが増えるのではないかと思った。

委員B ハード面とソフト面の取組を粛々とやりながらも、最も重要な取組はPRではないかと思う。今回はテレビや新聞、ラジオによる情報発信とあるが、お金を出してやるようなことではないと思う。地元のテレビや全国のテレビに取り上げてもらえるネタにした上でプレゼンを行っていく。SNSやHPなどを作って、やっつけではなく担当部署が行うなどしなければ共感を得られないと考えられるため、体制をしっかりと構築するべきである。

18 ページの目標数値がピンとこない。モデル都市を決めて「観光課のインスタグラムのフォロワーを〇〇人にする」など、動きがあるような指標を決めたほうが良いのではないか。

委員D 25 ページの歴史のマップが非常にわかりやすい。JR の場合は歩いて駅から防府天満宮まで行き、防府天満宮から自転車で防府市内を回るといったイメージか。

事務局 防府駅周辺から防府天満宮周辺を想定している。

委員D 防府天満宮の上の駐車場にお客様の車を止められるようにすると、うめてらずに寄ることなく他の場所へ行ってしまうためお金が落ちない。そのため、防府天満宮やうめてらずを回るベシックなルートを決め、そのルート上で飲み食いして歩きながら駅から防府天満宮まで行けるなど、年齢層別に興味を引くものを散りばめていくと良いのではないか。

会 長 20 ページの実施主体にスポーツの面で体育協会、青年会議所、商工会青年部などを含めると良いのではないか。特にスポーツ選手を呼ぶ取組については、体育協会が過去に何人も呼んでいるため、連携を取れるようにしたほうが良い。

 計画がまだ具体性に欠けているように思う。人事異動があっても円滑かつ確実に事業が引き継げるように、計画は具体的に明確に書いていただきたい。

(2) 今後の計画策定に向けたスケジュール

事務局 (資料1「第3次防府市観光振興基本計画策定スケジュール」を説明)

会 長 スケジュールに従って策定の作業を引き続き行っていくということで御異議はないか(「異議なし」の声あり)。

 それでは、以上をもって「令和2年度第2回防府市観光振興推進協議会」を終了する。委員の皆様には、熱心な議論とスムーズな議事進行に御協力いただき御礼申し上げます。

4 閉 会